【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公表番号】特表2002-537790(P2002-537790A)
【公表日】平成14年11月12日(2002.11.12)
【出願番号】特願2000-602252(P2000-602252)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/15　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/19　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/21　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ０７Ｋ　14/00
Ｃ１２Ｎ　1/15
Ｃ１２Ｎ　1/19
Ｃ１２Ｎ　1/21
Ｃ１２Ｎ　5/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月19日(2007.2.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　単離された核酸分子であって、以下：
（ａ）ＡＴＴＡＴＡＣ；
（ｂ）ＴＣＴＡＴＡＣ；
（ｃ）ＴＴＴＡＴＡＴ；
（ｄ）ＴＴＴＡＴＧＣ；
（ｅ）ＴＧＴＡＴＡＣ；および
（ｆ）ＴＴＡＡＴＡＣ
からなる群より選択されるヌクレオチド配列を含み、該ヌクレオチド配列は、インテグラーゼ組換えタンパク質によって認識される組換え部位内に位置する、核酸分子。
【請求項２】　２以上の組換え部位を含む、請求項１に記載の単離された核酸分子。
【請求項３】　前記組換え部位が、転写調節配列とオープンリーディングフレームとの間に位置し、該転写調節配列と該オープンリーディングフレームとが作動可能に連結されている、請求項１に記載の単離された核酸分子。
【請求項４】　前記転写調節配列がプロモーターである、請求項３に記載の単離された核酸分子。
【請求項５】　ベクターである、請求項１に記載の単離された核酸分子。
【請求項６】　前記ベクターがプラスミドである、請求項５に記載の単離された核酸分子。
【請求項７】　少なくとも１つの複製起点をさらに含む、請求項１に記載の単離された核酸分子。

【請求項８】　少なくとも２つの複製起点を含む、請求項７に記載の単離された核酸分子。

【請求項９】　原核生物細胞中での前記核酸分子の複製を可能にする少なくとも１つの複製起点を含む、請求項７に記載の単離された核酸分子。

【請求項１０】　前記原核生物細胞がＥｓｃｈｅｒｉｃｈｉａ　ｃｏｌｉ細胞である、請求項９に記載の単離された核酸分子。

【請求項１１】　請求項１に記載の単離された核酸分子を１つ以上含む、単離された宿主細胞。

【請求項１２】　１以上の組換え部位を含む核酸分子を生成するための方法であって、該方法は、該核酸分子にハイブリダイズする２以上のプライマーの存在下で該核酸分子を増幅する工程を包含し、ここで、該プライマーのうちの１以上が、以下：

（ａ）ＡＴＴＡＴＡＣ；
（ｂ）ＧＴＡＴＡＡＴ；
（ｃ）ＴＣＴＡＴＡＣ；
（ｄ）ＧＴＡＴＡＧＡ；
（ｅ）ＴＴＴＡＴＡＴ；
（ｆ）ＡＴＡＴＡＡＡ；
（ｇ）ＴＴＴＡＴＧＣ；
（ｈ）ＧＣＡＴＡＡＡ；
（ｉ）ＴＧＴＡＴＡＣ；
（ｊ）ＧＴＡＴＡＣＡ；
（ｋ）ＴＴＡＡＴＡＣ；および
（ｌ）ＧＴＡＴＴＡＡ

からなる群より選択されるヌクレオチド配列を含む、方法。

【請求項１３】　前記核酸分子が、ポリメラーゼ連鎖反応によって増幅される、請求項１２に記載の方法。

【請求項１４】　２以上の核酸分子を組換えるための方法であって、該方法は、以下：

（ａ）該２以上の核酸分子および少なくとも１つの組換えタンパク質を含む反応混合物を調製する工程；ならびに
（ｂ）該反応混合物を、該２以上の核酸分子間の組換えが起こるに充分な条件下でインキュベートする工程

を包含し、ここで、該核酸分子の各々が、以下：

（ａ）ＡＴＴＡＴＡＣ；
（ｂ）ＧＴＡＴＡＡＴ；
（ｃ）ＴＣＴＡＴＡＣ；
（ｄ）ＧＴＡＴＡＧＡ；
（ｅ）ＴＴＴＡＴＡＴ；
（ｆ）ＡＴＡＴＡＡＡ；
（ｇ）ＴＴＴＡＴＧＣ；
（ｈ）ＧＣＡＴＡＡＡ；
（ｉ）ＴＧＴＡＴＡＣ；
（ｊ）ＧＴＡＴＡＣＡ；
（ｋ）ＴＴＡＡＴＡＣ；および
（ｌ）ＧＴＡＴＴＡＡ

からなる群より選択される少なくとも１つのヌクレオチド配列を含む、方法。

【請求項１５】　前記少なくとも１つのヌクレオチド配列が、ａｔｔ配列である組換え部位内に位置する、請求項１４に記載の方法。

【請求項１６】　前記少なくとも１つの組換えタンパク質が、バクテリオファージλによってコードされる、請求項１４に記載の方法。

【請求項１７】　前記少なくとも１つの組換えタンパク質が、Ｉｎｔ、ＩＨＦ、ＸｉｓおよびＣｒｅからなる群より選択される、請求項１４に記載の方法。

【請求項１８】　前記少なくとも１つの組換えタンパク質が、Ｉｎｔ、ＩＨＦおよびＸｉｓからなる群より選択される、請求項１４に記載の方法。